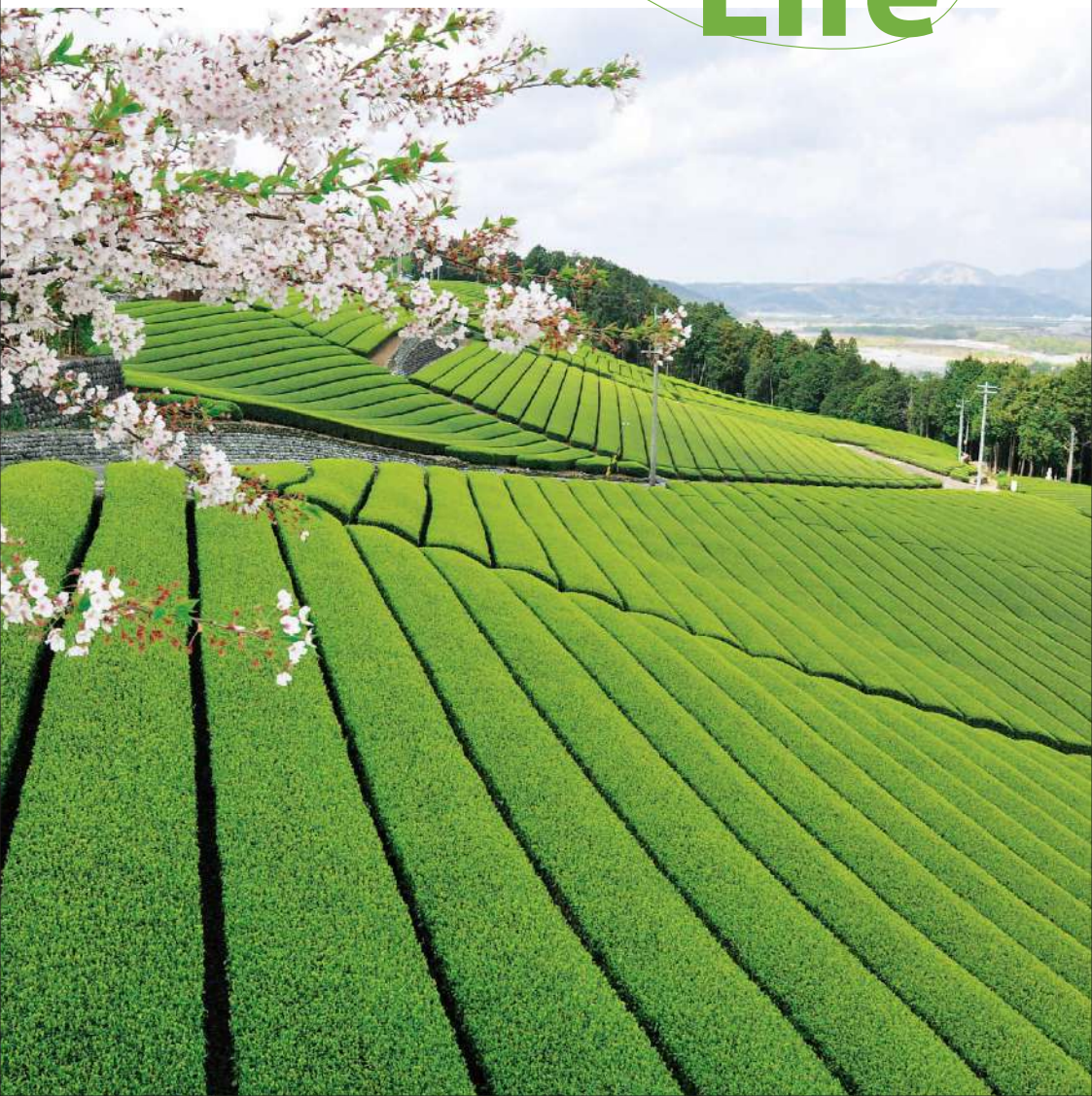




島田市

Green ci-tea Life

癒しのグリーンシティライフへの招待



地球上でもっとも緑茶を愛する街 静岡県島田市の暮らし

街全体を緑茶化するほどお茶を愛する島田市。
ゆったりだけど、わくわくする島田暮らしの
楽しさや驚きを移住者目線でご紹介します。
自然の中での生活や、地域住民との絆。
子供たちとの関わりから生まれる未来への希望。
島田での暮らしを一緒に考えてみませんか？

- 01 MENU・島田市に暮らす移住者の声
- 02 BEST OF SHIMADA
- 地域おこし協力隊の移住体験談
- 03 佐藤・05 村松・07 加藤・09 阿部
- 11 静岡県島田市のご案内

島田市に暮らす 移住者の声

たむらのうえん
田村善之さん(30代)

移住歴
9年



Uターンのきっかけは地元のお茶

東京にいたときに働いていた高齢者施設で、お年寄りへ故郷である島田市川根のお茶を淹れたら、すごく喜んでもらった体験が、Uターンして農家を継ごうという思いにつながりました。
今はブルーベリー摘み取り園をオープンさせ、農家仲間で『抹茶オーガニックジャパン』という会社を立ち上げました。現在、地元にも農業にもどっぷりハマっています。

脱サラして茶農家になりました

妻の実家がある島田市川根町に妻と二人で移住。長男が生まれてからは妻の両親と同居して、勤めていた金融機関を退職し、茶農家に転身しました。
まだまだ勉強中ですが、仕事に子育てに夫婦で工夫しながら楽しく暮らしています。子供の人数は少ないですが、家族同士の顔がわかり安心して子育てができています。

茶農家

萩下さん夫妻(30代)

移住歴
9年



パン屋開業

奥山さん夫妻(30代)

移住歴
1年



夢だった島田市でのパン屋開業を実現

もともと日本の食料自給率の低さを解決したいという思いをもっており、横浜の商社で働いているときも、いつかは生まれ育った島田市で「食について自分にできること」はないかと考えていました。
パン屋を開くという夢を持ったあと、銀座の老舗パン屋などで修業を積み念願の島田市でのパン屋「Bakery labo」の開業を実現しました。

美しい日本髪
の
鬘娘に誘われて



鬘祭りでは、有名な文金高島田を始め、武家風、街娘風など様々な種類の日本髪を楽しむことができる。

Best of Shimada

島田市の歴史と豊かな自然をご紹介します

祭り



日本三奇祭 島田大祭帯まつり

元禄八年に始まったといわれる東海道島田宿の大井神社の祭礼。御神輿が前鎮座地のお旅所へ里帰りする神輿渡御行列が主体となっています。神輿渡御行列(御神輿、大奴、鹿島踊り、屋台踊りなど)は、江戸時代を偲ぶ元禄時代絵巻です。

SL



緑の中を毎日SLが走る 大井川鐵道

日本ではじめて蒸気機関車を動態保存した状態で、毎日運行させている大井川鐵道。
最近では、機関車トーマスやその仲間たちが山間を疾走しており、乗車チケット入手が困難なほどの大人気です。

自然



おいしいお茶が育つ 理想の郷

大井川の川面から立ちのぼる霧、日当たりのいい斜面に広がる茶畑。島田市はおいしいお茶が育つ理想の郷でもあります。
新茶の季節には、市内のあちこちから、お茶のいい香りが広がります。

自然と共に暮らす喜び

IT戦士から森の住民へ転身

神奈川県川崎市から地域おこし協力隊として移住した佐藤さん。
狩猟に挑戦したり、パラグライダーに挑戦したり。生まれて初めて自然と向き合う。



空を飛んじゃうほど
ストレスフリー！

IT業界から一転、里山暮らしへ

「IT業界で働く毎日で精神的に疲弊していきました」と、佐藤さんは移住した理由を語ってくれました。

「毎日パソコンに向かい、気が付いたら身も心も疲れきっていて。それで会社を退職して自分らしく生きるための道を模索し始めました」。

一年の休養を経て佐藤さんは島田市の地域おこし協力隊に就任。初めて大自然の中での生活を送りながら、もともと興味があった狩猟に挑戦し



ています。

将来の展望について佐藤さんは、

「猟友会も高齢化で引き継ぐ人がいません。若者に興味を持ってもらうように、獣肉を処理できる施設や角や皮などの素材を使った加工製品の販売など、生活できる仕組み作りを考えていきたいですね。IT業界にいたのでその経験を活かしてデータ解析などを交えて取り組みたいと思います」。

狩猟のほかにもキャンプ場の開設に取り組むなど、佐藤さんの暮らしは自然と共に歩んでいる。

さとうさんの
ネイチャーライフ

キャンプ場の開設



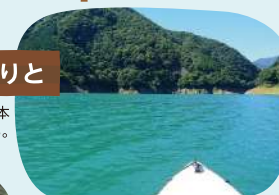
ゆくゆくはアドベンチャーワールドのような観光スポットになることを目指しています。

川根地区の鶴山森林公園の敷地内に、地元の人たちと協力してキャンプ場を開設。キャンプのみならず、さまざまなアクティビティが行える遊び場になりたいです。



カヤックでのんびりと

休日は島田市のとりにある川根本町の湖に出かけ、水の上をゆらゆら。



ツリーライミングを体験

木や森、自然との一体感を味わう活動。いずれはキャンプ場でも体験できるよ。

パラグライダーに挑戦！

空から川根地区を一望。パラグライダー場が近所にあるのはうれしい。



地域おこし協力隊

No.1



名前：佐藤洋行（1980年生まれ）
前住所：神奈川県川崎市
移住場所：島田市川根町
前職：システムエンジニア

川根地区のゆるキャラ
チャリムくんがお気に入りです



川根の人に負けないように頑張りたい

川根地区には若者からお年寄りまで、この町を盛り上げようと活動を行っている人たちが沢山います。

それは、川根地区を愛する人たちがたくさんいるということです。ひょっとしたら協力隊なんて必要なのではないかと思った時期もあります。

—私も負けずに、またその一員になれるように自分にできることを精一杯やっていきたいです。

地域学校協働コーディネーターとして 移住して築いた子供たちとの絆

小学校で活動する地域おこし協力隊の村松さん。

子供たち自身に地域活動に関わってもらうことで、大人たちの意識も変わっていく。



みんなで楽しく地域活動しています！

川根の未来を子供たちと築く

村松さんは全国的にも珍しい小学校を拠点とする地域おこし協力隊。

「地域づくりにもっと子供たちが参加できれば、子どもにとっても地域にとっても相乗効果があるはず」活動拠点を川根小学校に移し、学校と地域の活動をむすぶ地域学校協働コーディネーターに就任しました。

「子どもがもっと川根を好きになってくれれば川根の将来につながる。そんな"種まき"のように考えています。それと一部のメンバーだけで運営されがちな地域活動に子どもたちが参加してくれることは、ほくら大人のためにもいい刺激になります」。

川根小50周年に向けて、子どもたちと地域のために活動する取組み「川根ラブアクション」を話し合いながら少しずつ進めています。休耕田を使っての田植えや町内のお祭りで小学生が運営するお店の調整など楽しんで活動しています。

「子どもたちにいくら細かい説明をしても興味を持ってもらえないんです。子どもたちに「楽しい！」と思わせなければ」義務感や使命感だけでなく「楽しい地域おこし」を模索しています。



けん玉教えて！

川根小4年生 紳介くん

ほくもけん玉が好きだから一緒に練習しよう。

川根 ラブアクション 進行中！

遠太郎さんって先生なの？



川根小1年生 あいらちゃん
りんかちゃん

学校にいるけど先生じゃないんだよ。川根地域のお助けマンみたいな感じかな。

この前田んぼ見てきたよ。すごく緑になった。

みんなでまいた肥料が効いてきたんだね。稲刈りもみんなで行おう。

川根小3年生 采芽ちゃん

川根地区では1学年1クラスが中学校まで続くため、限られた人間関係の中で生活することになります。素直で明るい川根の子供たちのために、「新しい出会いや多くの経験ができるチャンスを作りたい」そんな思いから、川根ラブアクションの総合学習では、子供たちが主催する地域のためのイベントを計画しています。



授業で秋の味覚の収穫体験をしたい。

耕作放棄地に柿を植えている場所があるので聞いてみます。干し柿作りもやりたいですね。



川根小学校 館林先生

地域おこし協力隊
No.2

来年は日本茶インストラクター資格に挑戦したい！



名前：村松遠太郎（1985年生まれ）
前住所：静岡県焼津市
移住場所：島田市川根町
前職：介護職



ブログでの情報発信で島田市をPR

自分の体験や活動をブログ「りよたろぐ」で記録。ブログがきっかけで県外の協力隊と仲良くなることもあります。

ブログと並行して川根の地域情報サイト「かわねのまとめ」も運営中です。地域のイベントのPRや、ホームページを持たないお店の手助けになればと思っています。

—それと今勉強しているのは、土嚢を積み上げて作るアースバッグハウス。いつか川根に建てるのが夢です。

里山暮らしとご近所さん

伊久身でできた老若男女の友人

里山暮らしを始めて感じたご近所さんのありがたい気づかい。

野菜作りからイベントの実施まで、さまざまな活動はすべて地域住民との連携から生まれる。

伊久身の暮らしは自然も人も最高！



ご近所さんと野菜作りからイベントの企画まで

「移住したら野菜を作りたいと思っていました」と、名古屋から島田市伊久身に移住してきた加藤さん。しかし、加藤さんは野菜作りはまったくの素人。何から始めたらいいのだろうか、と、思案していたところ、ご近所さんから救いの手が。

「お向かいの森田さんという方が、家の裏の畑を借りる交渉を畑の持ち主としてくれて、とても助かりました。その後も森田さんは土づくりから水のやり方、収穫の仕方まで手取り足取り教えてくれました。また、森田さん以外にもご近所さんがとても親切にしてくれて、充実した移住生活を送っています。」

普段の加藤さんは「山の家」という野外活動施設に常駐して、地域おこしにかかわる活動をしています。

「前職がweb関連の仕事をしていたこともあり、ホームページを作ったり、それ以外ではイベントの企画をしたりしています。山の家が今年でちょうど30周年を迎えるので記念イベントをご近所さんと一緒に企画中です。山の家以外では、バーベキュー場の開設も企画しています。豊かな自然を活かした手ぶらでこれるバーベキュー場にしたいと考えています。」

加藤さんの目標はご近所さんと一緒に伊久身を元気にすることです。



新しい風を呼び込んでくれることを期待しています。



堀井さん夫妻(50代)奥さんは島市内から伊久身地区に嫁いできて30年。

いつも力仕事を手伝ってくれてありがとう。



西原さん(40代)活発に地域活動を行う頼りになる地域の人気者。

息子がすっかり加藤さんになつています。



堀崎さん一家(30代)神奈川からリターン移住。地域のイベントにも積極的に参加。

加藤さんについてご近所さんに聞きました！

若い飲み友達できて何より。また飲みに行こう。

堀崎幸男さん(60代)伊久身小学校の業務員。何かと頼りにされるリーダータイプ。



次の山の家イベントも期待しています。

友原さん(60代)山を家の館長。朝3時に起きて遅くまで働く働き者。



色々教え甲斐のある子が来てくれてうれしいよ。

森田さん夫妻(70代)森田電機創業者。ご主人は現在も現役で忙しく飛び回る。



地域おこし協力隊 No.3



犬と猫たちも自然豊かな暮らしに満足しています

名前:加藤潤(1978年生まれ)
前住所:名古屋
移住場所:島田市伊久身
前職:web制作



活動を通じて伊久身をより良い場所に

私の家のご近所さんたちは、家族のような、友達のような、温かな関係で成り立っています。

また、人間関係同様に自然環境も心を癒してくれるような素晴らしい場所が沢山あります。それは、夜の川辺に現れる蛍だったり、早朝に森で出くわすリスのせわしない様子だったり。

移住して一年経ちますが、ご近所さんを始めとする地域の方々とともに、地元のよい所を掘り出していきたいです。

「工夫」と「なんでもやる」がモットー 特技を活かして阿部流おもてなし

長年の夢だった田舎暮らしを島田市でついに実現。

みんなの笑顔を作るために、今まで培った経験を活かし、多様な地域活動を実施中。

毎朝ステキな眺めに、感激してます！



地元の人のためにできることはなんでもやる

阿部さんが横須賀から移住してきて一番最初に感動したのは、借家から望む眺望の素晴らしさ。

「あたり一面、空と山と茶畑。なんだか自分だけ得をしたような気持ちになりました」。

ところが、その感動をご近所さんに伝えると「そうかな？」とそっけない反応。「地元の方にとってはごく当たり前の景色なんですよ」と阿部さんは笑います。「それくらいこの伊久身は美しい景観であふれているんです」。

今、阿部さんは美しい伊久身の自然を守るため美化活動に取り組んでいます。

「道端の落ち葉拾いからハイキングコースの整備まで何でもやりますよ。体を動かしていないとダメな私たちなんで」。

また、以前調理関係の仕事をしていた経験を活かし、島田市主催の海外家庭料理教室の先生としてさまざまな海外料理を教えています。

「自分にできることは何か？と考えると、やはりコックの経験を活かしてということになりますね。自分を温かく受け入れてくれた伊久身のみさんに少しでも恩返しをしたいんです」。

そう語る阿部さんの表情は輝いています。



あべさんの活動日記

地元のお店でお菓子作り

農産加工体験施設
やまゆりの厨房で
腕を振るう。



海外料理教室の講師

コックの経験を活かして海外の様々な料理を教えている。
簡単で美味しいと大好評。



ハイキングコース整備

現在、森林インストラクターの資格を取得中。将来は森の案内人になることが夢。



茶の木の間で地域をPR



背景の絵は子供たちが描いたたくさんの笑顔。

地域おこし協力隊
No.4

いろいろなジャンルの料理に挑戦しています。



名前：阿部正（1963年生まれ）
前住所：神奈川県横須賀
移住場所：島田市伊久身
前職：フランス料理コック等



移住してから様々なことに挑戦しました

伊久身に来てから地域のお祭りでコントをやったり、料理教室の先生をやったりお茶の木を組み合わせで恐竜のオブジェを作ったりと本当にいろいろなことに挑戦させてもらっています。

前職では営業の経験もあるので、持ち前の器用さと、営業で培った行動力を活かして、皆さんを笑顔にするために体を張って頑張っていきたいです。



島田市概要

人口／99,428人(平成29年9月末現在) 面積／315.70km²

住みやすい町

🍃 **84.1%の市民が住みやすいと感じるまち島田**
●平成28年度市民意識調査●

🍃 **新築支援 最大120万円**
県外から市内に住宅を新築された方に奨励金を交付します。

🍃 **便利な交通アクセス**
東海道線島田駅・金谷駅・六合駅、東名IC、新東名IC、静岡空港

🍃 **中古住宅購入支援最大200万円**
中学生以下の子供を持つ父母で、中古住宅を購入する方に対し奨励金を交付します。

子育てをサポート

🍃 **妊娠、出産、育児の切れ目のない支援**
子育てコンシェルジュの配置
地域子育て支援センター市内10箇所

🍃 **共働き世帯の家計にやさしい保育料**
平成29年度から子どもの年齢と世帯の所得制限をなくし、第2子半額、第3子以降は無料!

🍃 **子育て応援サイト「しまいく」**
LINEで子育て情報を発信!

仕事をサポート

🍃 **クラウドソーシングサイト
Asubi planning**
自分らしく、時間や場所を選びながら働く仕事の紹介

🍃 **島田市就職支援サイトしまだのおしごと**
仕事の紹介や島田市の魅力を伝えます

🍃 **産業支援センターおびサポ**
起業、創業したい人たちのワンストップ窓口

iju-shimada.jp

移住定住サイト・住んでごしまだ